

大正
小地区
コミュニティ委員会

朝顔笑顔の大正小地区コミュニティ委員会です。今年30周年を迎えます。

約3年にも渡るコロナウイルスによる行動制限の後、ようやくイベントを再開することができました。春恒例の「大正小地区コミュニティ文学歴史散歩」を3年ぶりに行いました。

4月2日、今回は深川江戸資料館で当時の生活に思いをはせ、清澄庭園で花を愛で、最後に深川不動尊を巡るぶらり散歩です。入谷駅から日比谷線に乗り、仲御徒町駅で都営大江戸線に乗り換えて、清澄白河で降ります。深川不動尊で解散した後、各々昼食をとり、門前仲町駅から帰るコースです。参加者はコロナ前より少なく、14名でした。今年は桜の開花が早く、当日は散り気味でしたが、久しぶりの散歩を楽しみました。マスクの着用については個人の判断に委ねられておりましたが、参加者の皆様は写真撮影以外では着用していません。コロナウイルスは2類から5類に移行し、秋に行うコミュニティ祭りや新年会は、コロナ前の「通常開催」に戻そうと思っております。ただやはり高齢の方や基礎疾患をお持ちの方にとっては、重症化リスクの高い病気であることには変わりません。場合によっては節度を持った行動をとり、安心安全な生活を取り戻せるように願います。

運営委員長 丸地 伝三



浅草橋
小地区
コミュニティ委員会

コロナ禍での「コミュニティ活動」

3年以上にわたり苦しんだコロナウイルスの状況もようやく一段落し、様々な活動が復活してきています。

浅草橋地区コミュニティ委員会では、令和5年5月のマロニエ祭りに引き続き、久々の開催となる8月の柳北踊りに運営お手伝いとして協力しました。

柳北踊りでは、浅草橋コミュニティ委員会所属の各サークルの方々に交代でお手伝いをして頂きました。事前の運営会議で各サークルに抽選をしてもらい、手伝いの時間割を決定するという方法です。暑いなかでの運営手伝いとなり、中々大変でしたが皆様積極的に活動頂きました。

コロナ禍の影響を大きく受けたサークルの一つが合唱団です。浅草橋コミュニティには、浅草見附男声合唱団があります。合唱は感染リスクが高いというレッテルを貼られ、集まるとの練習が出来ない頃はオンラインを利用して四苦八苦しながら練習に励みました。そして現在では、相変わらずマスクは着用しておりますが、団員が集まって対面での練習が可能となり、ハーモニを奏でる喜びをかみしめながらのびのびと練習に励んでいます。

浅草見附男声合唱団は、来年3月にジョイントではありますがコンサートを企画しており、苦しんだコロナ禍を吹き飛ばす素晴らしいコンサートにすべく、奮闘努力している毎日です！

コロナに負けず、活動をエンジョイしよう！



蔵前
小地区
コミュニティ委員会

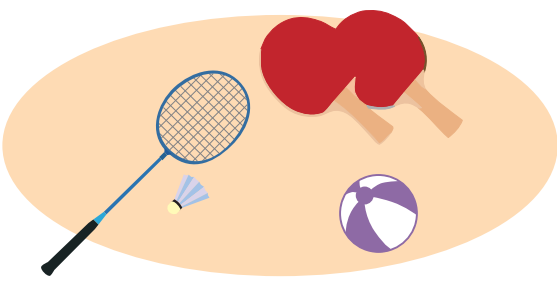
蔵前小地区コミュニティ委員会は、蔵前小学校、ことぶきこども園で活動しています。参加サークルは、現在、28団体で、さらに増加傾向にあります。

コロナ禍では、基本的に各サークルの活動は停止しておりました。

コミュニティ祭りについては、これまでやってきたコミュニティ祭りができないため、蔵前小の子供達の参加を中心にウオークラリーを令和2年度と令和3年度に行いました。

令和4年度にコロナ自粛緩和もあり、サークル活動もコロナ対策をしつつ、再開いたしました。コミュニティ祭りもコロナ前に行っていた飲食は自粛したものの、「蔵の街フェスティバル」と称し、蔵前小PTAと共催で、2年間実施してきたウオークラリー、大抽選会、野菜販売、寄贈品販売などを行い、賑わいました。(雨でウオークラリーは中止)

本年度は、蔵前小学校が20周年で、秋にコミュニティ祭りを行うことが困難なため、令和6年2月25日にコミュニティ祭りを行います。内容は、昨年の内容に加え、飲食を復活できないか？と現在、相談しているところです。



最後に、蔵前小地区のサークルを紹介いたします。文化系では、お囃子、居合道などの団体があります。その他はスポーツ系団体です。ビーチボールバレー、バレー、バトミントン、卓球、テニス、少年サッカー、少年野球等の団体に加え、新スポーツの団体も加わってくれました。コーフボール、You・Foという新スポーツで、2月に行われる交流大会で、デモンストラクション披露する予定です。コロナ禍を経て、よりパワーアップして、各サークル活動、コミュニティ祭りを行って参ります。